

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	最大取付数		本体の取付方法						オプション			
			トレードイン	アドオン	キットレス	取付キット使用			備考	1Dサイズ		2D一体機	アンテナ変換コードの必要	
						型番	主な付属品	希望小売価格(税別)		46サイズ		46サイズ		
H7/9~H11/4	E-HNP11,GF-HNP11 E-HP11,GF-HP11 E-P11,GF-QP11	4セダン 全車種	2D	1D	○					注2				

(注2) AVシステム付車/ナビゲーションシステム付車を除く。

(注3) スーパーサウンドシステム付車(6スピーカー付)の場合は、ダイバーシティシステムのため、アンテナ変換コードが必要。なお、ワゴン(7スピーカー付)は、アンプ付きウーファー部が使用できなくなります。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源(ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… 日産車

	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	日産車用取付化粧パネルAD-N980を使用	キットレスでD46の1Dサイズを取付ける場合には、別売の日産車用取付化粧パネルAD-N980(1,000円、税別)を使用します。AD-N980は1Dサイズ1機種につき1個必要ですので、1D+1D取付けの場合は2個必要となります。
	日産車用取付化粧パネルADT-N979 IIを使用	キットレスでD46の2Dサイズ一体機(FH-P90以前のモデルは除く)を取付ける場合には、別売の日産車用取付化粧パネルADT-N979 II(1,200円、税別)を使用します(1D+1Dの取付けには使用できません)。 ※但し、オペレーションフラップ機構の2Dサイズ一体機を取付ける場合は、化粧パネルを上寄りに取付け、両面粘着シールを左右側面のみ貼付けてください。
	日産車用配線キットKJ-N24P <sup>①</sup> が使用可能	別売の日産車用配線キットが使用できます。 <sup>②</sup> は日産20P車トレードイン専用KJ-N24P <sup>①</sup> (3,800円、税別、オプション用4P同梱)の適応車種です。
	日産車用配線キットKJ-N20P <sup>①</sup> が使用可能	別売の日産車用配線キットが使用できます。 <sup>②</sup> は日産20P車トレードイン専用KJ-N20P <sup>①</sup> (3,000円、税別)の適応車種です。
	日産車用配線キットKN-93P <sup>②</sup> が使用可能	別売の日産車用配線キットが使用できます。 <sup>③</sup> は日産10P/6P車トレードイン専用KN-93P <sup>②</sup> (1,500円、税別)の適応車種です。
	日産車用配線キットAD-N961が使用可能	別売の日産車用配線キットが使用できます。 <sup>④</sup> は日産旧型10P/6P車アドオン/トレードイン兼用AD-N961(2,000円、税別)の適応車種です。 ※AD-N961適合車種で、電子制御アクティブサウンドシステム付車の場合には、車種により、KK-N92PJ <sup>⑤</sup> (3,800円、税別)を使用することができます。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合は、別売の日産車用アンテナ変換コードRD-AN21A(1,500円、税別)を使用し、またFMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウエイチューナー取付時には、RD-AN23(3,000円、税別)を使用します(但し、RD-AN23は品薄につき、在庫切れになる場合があります)。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II <sup>⑥</sup> (12,000円、税別)がシート取付ボルト部に取付可能です(車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II <sup>⑥</sup> 付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注)… KW-27V II <sup>⑥</sup> は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

